

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多額 の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
1	一般	4	2	1	212循環型社会の構築 清掃事務に要する経費	クリーン推進課			①廃棄物の出し方、分別などについて、電話や窓口における相談やその他廃棄物処理に関する事務、苦情処理等を行うもの。 ②窓口や電話による苦情、相談の件数が多く、内容も非常に多岐に渡るため、正職員だけでは対応が困難である。	2,755	2,785	6精査・検証	①電話や窓口対応が日常的に多いため、業務に精通した非常勤職員による対応を継続する必要がある。 ②市民への指導内容等については、各職員で同一でなければならないことから、職員間で常に情報共有を図る。	3,076
2	一般	4	2	1	212循環型社会の構築 柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(周辺整備等)	クリーン推進課		○	①余熱利用還元施設の管理運営、斜面緑地及び各廃棄物処理施設及びその周辺における植栽管理、非常災害井戸の管理。 ②周辺整備計画については、地域住民及び構成市との調整を図りながら見直しを行う必要がある。	117,280	141,608	6精査・検証	①運営の効率化について、たえず検証していくため。 ②環境衛生組合による周辺整備基本計画等策定事業において構成市として地域住民との合意に基づいた計画を策定する。	161,645
3	一般	4	2	2	212循環型社会の構築 ごみ減量業務に要する経費	クリーン推進課		○	①有価物回収運動奨励金や買い物袋の持参推進運動協議会の負担金、生ごみ処理容器等購入費補助金の支払いを行う。 ②有価物の回収量、買い物袋の交換件数及び生ごみ処理容器等の補助件数について、全体的に減少傾向にある。	14,979	14,860	6精査・検証	①市民に直接働きかけることでごみの減量化につながる施策であるため、今後もPR活動等を継続する必要がある。 ②有価物回収量を増やすため、アンケートを実施し回収量の増加対策の参考資料とする。	16,125
4	一般	4	2	2	212循環型社会の構築 柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(ごみ処理等)	クリーン推進課		○	①一般廃棄物の収集及び各廃棄物処理施設に投入された廃棄物等の再資源化、焼却等の中間処理を行う。 ②今後、ごみ焼却施設の老朽化による延命化対策が必要となる。	1,324,326	1,246,562	6精査・検証	①不燃ごみ処理方法及び資源化処理方法についての検討が必要となる。 ②しらせぎの建設にあたり、旧沼南町と締結した協定書に基づき、鎌ヶ谷市域の用地を取得するための準備を進める。	1,178,504
5	一般	4	2	2	212循環型社会の構築 旧クリーンセンター管理に要する経費	クリーン推進課			①休止中である鎌ヶ谷市クリーンセンターの維持管理を適正に行い、周辺環境や安全を確保する。 ②景観の保全と安全の確保をおこなうことが必要である。	437	890	6精査・検証	①景観の保全と安全の確保が行われた。 ②現状のとおり維持管理を継続する。	704
6	一般	4	2	2	212循環型社会の構築 最終処分場に要する経費	クリーン推進課			①埋め立てが終了した鎌ヶ谷市一般廃棄物最終処分場を適正に維持管理し、周辺環境及び地下水等の水質を保全する。 ②埋立終了から10年以上経過していることから、廃止に向けて手続きを進めることが必要となる。	4,345	4,328	6精査・検証	①当面、管理が必要となるが、埋立終了から10年以上経過しており、廃止に向けて各種データを収集していく。 ②廃止に向けて各種データの収集を継続し、廃棄物処理法及び都市計画法上で必要となる手続きについて準備を進める。	5,440